

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

中高生リーダー研修会に参加して

MIYAZAKI 2020 ～3密を防いで親密に～

令和2年11月8日(日)川崎市青少年の家で中高生リーダー研修会が開催されました。コロナ禍のため日帰り研修会となりましたが、総勢45名の参加で新型コロナウイルス感染対策を徹底し、無事に充実した研修会を行うことが出来ました。



実行委員長 米山 駿 志 多摩区子ども会連合 (高2)

今回は実行委員としての参加で、実行委員長総括と重要な役割を持っていたので、きちんと研修を行えるか心配でした。しかし実行委員みんなが協力してくれたことで無事に大きな問題が起こらず終えられてホッとしています。「3密を防いで親密に」コロナ禍ならではの研修会でしたが、参加者みんな楽しそうでした。個人的には子ども会以外の団体の活動について知るきっかけになったので、参加してよかったと感じました。



開会式

消毒、ソーシャルディスタンス、換気に配慮して来賓をお迎えしての開会式に緊張して臨んだ。
(高2男子)



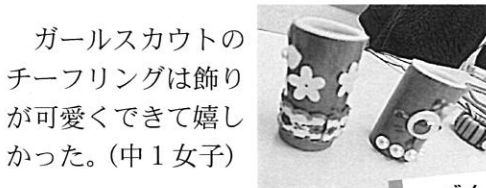
オリエンテーション

他の団体から学ぶ事も多く、自分の団体も引けを取ることなく活動していきたい。
(高1男子)



アイスブレイク

高校生、中学生の間に壁がなく、お互いの団体の活動を交換し合えて幅が広がり良かった。
(高1女子)



ガールスカウトのチーフリングは飾りが可愛くできて嬉しかった。(中1女子)

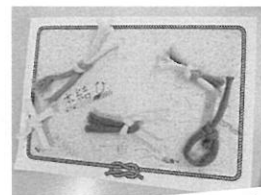
ゴムホースチーフリング作製

久しぶりに外で食べるお弁当はおいしい。(中1男子)



園庭で弁当タイム

他団体と同じ目標に向かうのは難しい分、実行委員として成しえた時の達成感は大い。
(高2女子)



ロープ結び結索ボード

ボーイスカウトに教えてもらったロープ結びは勉強になった。他の団体と話が出来るいろいろな学ぶ事が多かった。

(中2女子・高1男子)



レクリエーション

コロナ禍でこのような活動が出来たことは貴重な一日になった。この体験を自分の団の活動に持ち帰り発信していきたい。
(高3女子)

思い切って始めました野球大会

川崎区子ども会連合会 根本 一 雄

川崎区大師支部野球大会が、去る8月8日(土)・9日(日)の2日間、大師少年球場にて開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により子ども会の行事や各種イベントが延期、中止となり、我が川崎区大師支部野球大会も開催中止かで役員及び野球関係者が何回も話し合いをし、大変苦慮しましたが、子ども達の日頃の練習の成果をこの大会でとの思いで開催を実施することにしました。



感染予防、熱中症対策として

- ①子ども会役員、関係者はマスク着用、手指消毒、三密回避し、本部席には消毒、熱中症予防液、塩アメ等対策の備品を常備。
- ②応援は大声の発生を禁止し、手拍子による応援等で行う。
- ③選手及び審判員の熱中症対策として、試合中の1イニングに20分から30分以上グラウンドに立っている場合は、水分補給のため10分間の休憩タイムをとる。



以前はこの大会も24チームでの大きな大会でしたが、近年は少子化に伴い8チームとなり、単独でチーム編成が出来ない子ども会がほとんどで、近隣子ども会との混合チームで試合をしています。

子ども達が野球を続けられるように柔軟に対応し、これからも野球大会が開催される様に子ども会及び野球関係者のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ジュニアリーダーのスキルアップ&体験 ミニミニお楽しみ会に挑戦

中原区子ども会連合会 佐々木 嵩 広

中子連「ジュニアリーダーのCカインズ」のメンバーは18名で、毎月第1土曜日、午後7時の定例会議に6～7名出席し、コロナ禍の中でメンバーのスキルアップや子どもたちと楽しい活動を何とかできないかと話し合い、少人数で密接触を避け、マスク着用で出来る活動を話し合い、少人数でのお楽しみ会を企画しました。

昨年12月20日(日)小学校体育館を利用し、50名内と人数制限もあり、小学生40名とジュニア10名で準備してきたプログラムで「ミニミニお楽しみ会」の開催となりました。会場の受付で全員が検温、消毒、マスク着用等の確認と名簿で健康チェック後、体育館内もバラバラに集合し、換気対策を徹底し、いよいよ開催となりました。

子ども達は「お楽しみ会」の始まる前から体育館内を走り回り、例年通り賑やかになり、久しぶりに子どもたちと交流するジュニアリーダー達も嬉しそう迎えていました。

賑やかで温かい雰囲気の中で会は始まり、今回は「パーティーにサンタクロースを呼ぼう」とい

う設定で合間に寸劇を入れつつレクを行い、子どもたちみんなで大きな輪を作り、真ん中のジュニアリーダーの動きに合わせて、活発な楽しいレクが続ききました。

途中に休憩を入れ、後半は「サンタクロースと手遊び」のレクを繰り返し、久々の仲間との交流で、1時間30分があつという間に過ぎました。

例年なら300名前後の参加活動ですが、今回は制限の中、可能な「ミニミニお楽しみ会」挑戦を計画し、ジュニアも今年加入したメンバーが多くまだ慣れていないためスキルの的にも上手にいかない部分もありましたが、子どもたちは精一杯動き回り「楽しかった」と言いながら、プレゼントを貰って元気にあいさつして帰って行きました。

子ども会の活動も制限され、多くの行事が中止となる中、久々に子どもたちの前でレク活動ができたことは、ジュニアリーダーのスキルアップと貴重な実践経験となりました。

これからも子ども達と楽しく触れ合いが出来る活動が続く事を願っています。



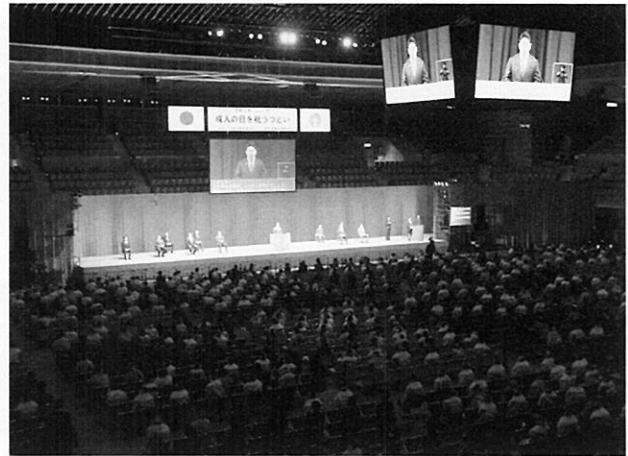
「成人の日を祝うつどい」のサポーターとして参加して

川崎海洋少年団 後藤 わかな

今年の1月11日に開催された「成人の日を祝うつどい(成人式)」にサポーターとして準備や運営に参加致しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「成人式」が開催できるのか、分からない状態で準備をしてきました。準備は何ヶ月も前から行ってきましたので、多くの方の助けをもらいながら準備を進めました。その中で、「コロナ渦でも、なんとか『成人式』を開催したい」という思いが強くなりましたが、今年は例年とは違い、大きく変えなければいけないことが多くありました。例えば、スポーツ選手や歌手の方など、川崎の町にゆかりのある方々に直接メッセージをいただきに行くことができなかつたり、サポーターのミーティングもオンラインで行うこともあったりと、いつもとは異なる「成人式」を行うために、いつもとは違う準備を進めていきました。そのため、私を含め、「成人式」の開催に向けて準備に関わる方々は、うまくできるかという不安を抱えられていたこともたくさんあったと思います。しかし、無事に「成人式」を終えることができた今、私自身今年の「成人式」だからこそ、参加者の一人としてもとても嬉しく思い、サポーターとしても大変貴重な経験をさせて頂いたと感じています。

普段の学生生活では出逢うことのできない、たくさんの大人の方々とも作業を共に行ったり、お話させていただいたりする機会を通じて、視野を広げることができました。正直なところ、大学の学業と並行してサポーターの活動を行なっていくことが大変だと感じた時もありますが、「成人式」に携わり、多くの方と協力して大きな事を成し遂げるとい



験は、なかなかできることではないため、大変さ以上に得ることが多かったと思います。今後もこの経験をいかし、機会を見つけて、自分自身の力を発揮できる場を作っていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動が制限され、学び、経験する場が限られている今だからこそ、何か新しいことに挑戦してみたいと感じている方は「成人式」のサポーターなどのように学べる貴重な場へ積極的に参加して、自分自身の力を発揮してみたいと思います。

成人式サポーター紹介

私たちが企画しました
令和3年成人式サポーターグループ

川崎市 成人式サポーター 後藤 わかな

川崎青いこども未来局青少年支援室
電話：044-200-2609 FAX：044-200-3931
メールアドレス：45eion@city.kawasaki.jp

創立70周年を迎えて

2021年度、ボーイスカウト川崎地区協議会は創立70周年を迎えます。実は数えて70周年となる2020年度に創立70周年を祝う行事を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で1年延期となっていました。

2020年度は、川崎地区協議会を構成する各団にとっても新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、多くの活動が制限されてしまいました。それは、川崎地区協議会が企画する事業も同じで、多くの行事が中止や延期となり、創立70周年の事業も1年延期を余儀なくされました。

再始動となった創立70周年事業、「つながる つなげる 今までもこれからも」をテーマに活動を再開。まずはシンボルマークの策定作業と記念誌の編纂作業が始まりました。

日本ボーイスカウト川崎地区協議会

70周年特別委員会委員長 池村 重信

シンボルマークについてはデザインを川崎地区内のメンバーから募り、厳正な審査の結果、川崎39団カブ隊の湯浅スカウトのデザインが選ばれました。このシンボルマークは、川崎地区のメンバー全員の制服に1年間つけられることとなります。



今後の事業は、10月3日にゲームを主体としたイベント「スカウトフェスタ」(横浜市・こどもの国)が、2022年2月6日に創立70周年記念式典(中原区・エポック中原)が予定されています。

この先も新型コロナウイルスの影響が続きますが、先行きが不透明な部分もありますが、創立70周年の事業並びにすべての活動が滞りなく実施できることを祈っております。

ガールスカウトの活動

ガールスカウト川崎市連絡会

【よこはまクルージング&ガールスカウトの像巡りツアー】

9月27日(日)赤レンガパークからのクルージングは、風は穏やかで波が無く、絶好のコンディションで出航しました。コロナ禍ではありましたが、60人を2グループに分けて感染防止対策を徹底し、ソーシャルディスタンスを取るため船内は貸切にし、45分間の船旅は快適でした。



31回 ふねにのれてうれしかったです。

ガールスカウトの像

山下公園の氷川丸の前で握手する像はアメリカガールスカウト50周年とガールスカウト日本連盟の世界連盟加入を記念して募金で1962年に建てられました。



32回 海外の荷物が船で日本に送られて来ていたことがわかりました。



40回 横浜にガールスカウトの像があると知ることが出来ました。



48回 ガントリークレーンがキリンに見えたよ。

日本のガールスカウトは、2020年100周年を迎えました。ガールスカウトは少女と女性のための世界最大の団体です。現在150の国と地域に1000万人の会員がおり、世界各地で「すべての少女と女性」がより良い社会に暮らせるよう、彼女たちをとりまく環境・問題に向き合い、力をつける活動をしています。ガールスカウト運動とは、世界中の人が一緒に力を発揮してより良い社会を作る活動です。

【ジュニアの集い】



11月15日(日)晴天の下、コロナ禍に負けないよう「楽しくみんなで体を動かそう」をテーマに、ジュニアの集い・ミニ運動会を川崎市青少年の家にて開催しました。

競技は全部で6種目。ロープリレー、大縄、新聞紙玉入れ、オリンピック〇×クイズ、新聞紙やり投げ、そしてドッジビー。ドッジビーは、リーダーもチームを作って一緒に戦いました。



《スカウトの感想》

- ・コロナで交流が減っていた中、久しぶりに他の団の人と交流して話ができ、そしてドッジビーができてうれしかった。(6年)
- ・オリンピックのことを知れた。また、他の団の人たちと協力して一つのチームとして成り立つことができた。(6年)
- ・ふだんあまり会えない団のみんなと友達になれてよかったし、次会える時はまたいっぱいお話ししたいです。(4年)
- ・勝ち負け関係なく、みんなで協力して楽しめてよかったです。(4年)



発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社